

学校施設現地調査

教育民生常任委員会

読みやすい紙面を目指して

広聴広報
常任委員会

〔調査日〕

平成28年10月17日

〔調査箇所〕

市内小中学校

総合食育センター

〔参加議員〕

萩野幸弘 瀧澤征幸

菊池美也 小松大成

小林立栄

市民との懇談会で、指摘を頂いた学校施設の改善要望の現地調査を実施するにあたり、他の教育施設の現況調査も併せて実施した。午前中は遠野東中学校、土淵小学校、附馬牛小学校の順にまわり、食育センターで学校給



教育施設の現状を確認

食を試食した。午後は遠野中学校、小友小学校、遠野西中学校、宮守小学校と計8施設の現地調査を実施した。各施設とも程度の差はあるが、特に土淵小学校舎と宮守小学校のプールは早急な改修が必要である。ちなみに今般の定例会で宮守小学校のプール改修予算が計上されている。逆に附馬牛小学校と遠野中学校の施設の充実に

市内の教育施設は比較的凝った作りが多く、維持管理が難しい面もあるが、児童生徒の安全には代えがたい。市当局には危険度や優先度を見極め早い段階での問題解決に努めてほしい。

〔視察日〕

平成28年

11月10日～11日

〔視察研修先〕

山形県米沢市議会

山形県川西町議会

〔参加議員〕

菊池巳喜男 照井文雄

小林立栄 菊池充

菊池美也 新田勝見

多田勉

米沢市議会は、全議員(24名)による広報広聴委員会が設置され、議会報告、企画・政策提言、情報の3つの部会で活動している。議会は、川西町の議会だより編集委員会が設置され、6名で取り組んでいる。議会の常任委員会審



川西町議会では表紙は600枚以上の写真から選択する

議の内容は、業者に委託して翌日には文章に納めてくる。遠野市議会では、音声データを要し、今後参考として。川西町の議会だよりは、平成26、27年度の町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞し、編集、表現、バランスに優れた広報誌。長年にわたる「議会だより」の編集に関する覚えを基本としマニュアル化されており、議会だよりへの取り組みがいかに大事で、大切であるかを感じた。今後、活動に活かしていきたい。

空き家対策・ふるさと納税の取り組みを視察

〔視察日〕

平成28年

11月8日～9日

〔視察研修先〕

山形県天童市

〔参加議員〕

小林立栄 菊池巳喜男

萩野幸弘 照井文雄

瀧本孝一 浅沼幸雄

佐々木大三郎

●空き家対策について

平成25年に「天童市空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、空き家に対する住民の要望に素早く対応した。その後も、「空き家バンク」・「天童市移住推進等空き家活用支援事業」・「天童市空き家バンク登録促進事業」

を実施し、空き家を有効利用した移住定住の推進を図っている。本市も地域住民の協力を得ながら、切れ目ない取り組みが必要だと感じた。

●ふるさと納税の取り組みについて

平成26年度より返礼品を導入し、市の認知度の向上と地場産業である将棋駒産業の振興という、明確な目的を持って取り組んでいる。昨年度は、寄付件数が約18万件、金額が約32億円であった。名前の入った将棋駒ストラップのおまけが好評で、寄付件数が増加した。本市も遠野らしさを追求した返礼品の取り組みが重要だと、改めて感じた。

〔視察日〕

平成28年

11月15日～16日

〔視察研修先〕

山形県鶴岡市

山形県東根市

〔参加議員〕

萩野幸弘 多田誠一

多田勉 安部重幸

菊池由紀夫 新田勝見

瀧澤征幸

次産業化への支援等により農家所得の向上を図っている。

温海地域では、現在20名の農家が30度近い山の斜面で栽培している。8月中旬に播種して10月から雪が降る時期まで収穫する。10a当たり800から1000kgで、年間30tの生産量は、農協に出荷(200円/kg)される。昭和59年に設立された一霞温海かぶ生産組合の漬物加工場で付加価値を高めて全国に販売している。低コスト、省力化が図られ、遠野市で課題となっている農地等の保全に対して有益な農法であると実感した。

やすズメ、ムクドリによる被害が大。次いでサル、イノシシ、クマ、ハクビシンとなり、農作物被害にとどまらず、他の例から人身事故の発生も懸念されること。平成27年度の被害額は2億3千5百万円で、イノシシの捕獲頭数は99頭と増加傾向にあることから、イノシシ被害防止柵設置事業を市単独で実施している。

同市では、鳥被害など詳細な調査の下に計画がなされており、計画の変更も含めて早めの対応が感じられた。また、県に対して夜間捕獲許可の要望をしていることから、遠野市においてもシカ等への対策として行動すべきではないか。

焼畑農法によるあつみかぶの栽培と鳥獣被害防止計画の取り組みを研修



明確な目標と高い意思を持って取り組んでいると感じた

◆400年以前からの歴史「温海かぶ」を知る
寛文12年の「松竹往来」に庄内の産物として「温海かぶ」の記述があるという。鶴岡市の温海地域では、少量多品目でも流通できる仕組みづくり、そして同地域の特産である焼畑あつみかぶのブランド化の推進や6

◆鳥獣被害防止計画の取り組みを学ぶ
東根市では、カラス

東根市では、カラス